

令和5年1月19日

お客様へ

株式会社 栃木銀行  
取締役頭取 黒本 淳之介

## 栃木銀行と日本政策金融公庫が連携して創業者を支援 ～創業支援融資「とちぎん創業たまご資金」取組み事例～

株式会社栃木銀行（取締役頭取 黒本 淳之介）は、株式会社日本政策金融公庫（略称：日本公庫）佐野支店国民生活事業との協調により、創業者向け協調融資商品「とちぎん創業たまご資金」を活用して、地域の通所介護サービスの充実に資する創業者への支援を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

引続き、当行および日本公庫は連携して、地域経済の発展に向け積極的な創業支援を実施して参ります。

記

### 【支援先の概要】

企業名	株式会社 雅堂（がどう）
代表	代表取締役 古田土 広樹（こたと ひろき）
店舗住所	栃木県栃木市箱森町14-33
業種	通所介護サービス業

### 【事業内容】

- 要介護1～5に認定された高齢者および要支援1～2に認定された方を対象とした地域密着型介護サービスを提供。従来からある自立支援のリハビリマシンに加えて、個室（防音室）でカラオケが出来るスペースを設置し、唄う（声を出す）ことをリハビリに取り入れている点が特徴的です。認知証の方向けの半日型のデイサービスとして地域のニーズに対応していく予定です。（令和5年2月1日に施設オープン予定）

### 【創業の経緯】

- 代表者である古田土氏は、大阪で鍼灸師として訪問鍼灸（在宅診療）をメインとした業務に従事。その中で、訪問鍼灸が必要となる寝たきり状態になる前に、もっとやれることがあると痛感。大阪で在職していた整骨院で新規介護事業（リハビリ特化型デイサービス事業）の立ち上げ・運営に携わりました。



# NEWS RELEASE

- ・米国に渡り活躍した邦人画家である代表者の曾祖父 貞治氏（ビジネスネームである古田土雅堂が当社の商号の由来）が、栃木県芳賀郡中川村（現在の茂木町）生まれであり、その家系を継ぐため、6年前より栃木県に移り住みました。
- ・新たな職場で自立支援介護を学び、年齢を重ねても元気に自立した在宅生活を送れる高齢者が地域に一人でも多く増えれば、結果的に社会保障費の抑制に繋がること、また地域包括ケアシステムにおいて半日型リハビリデイサービスが担う社会貢献の可能性を強く感じ、唄う（声を出す）という新たなリハビリの取り組みの実現に向けて独立開業に至りました。

## 【協調融資までの経緯】

- ・代表者である古田土氏が、栃木商工会議所主催の「創業塾」を受講。創業塾の専門スタッフと創業計画書等を作成の上、日本公庫に資金調達の相談で訪問。
- ・当行は、日本公庫と日頃から、創業支援に関する情報交換を行っていたこと、および代表者が開業地近隣の当行（栃木北支店）へ融資相談を検討していたため、当行と日本公庫が連携して、協調融資にてスムーズに対応することができました。
- ・当行担当者がヒアリングを通じ、将来の地域福祉の充実に必要な事業であると判断し、資金調達の他、創業支援（集客力の向上を図るためのクレジットカード決済加盟店登録や業務効率化を図る上でのインターネットバンキング利用、SDG s 経営を達成するためのSDG s 宣言支援サービスの活用等）の提案を行っております。